

2025 年 6 月 23 日

各位

三菱地所株式会社

瀬戸内国際芸術祭 2025 パートナー企業連携企画

アーティスト **五十嵐靖晃氏** と **〈そらあみ※〉** を編もう

瀬戸内国際芸術祭の作品制作に参加して瀬戸内の魅力を感じる 3 日間

三菱地所株式会社は瀬戸内国際芸術祭実行委員会と共催で、「瀬戸内国際芸術祭 2025」で作品「高松港プロジェクト」（建築：佐藤研吾氏、アート：五十嵐靖晃氏）を展示する五十嵐靖晃氏の作品制作ワークショップ「そらあみを編もう」を実施いたします。本ワークショップで制作された作品は、「瀬戸内国際芸術祭 2025」の作品として、8 月 1 日より高松港にて鑑賞することができます。

○日 時 | 2025 年 7 月 19 日(土)・20 日(日)・21 日(祝) 11:00-17:00

○場 所 | 丸ビル 1F「マルキューブ」(東京都千代田区丸の内 2-4-1)

○参 加 | 予約・参加費不要



○**そらあみ** | アーティスト 五十嵐靖晃氏と漁網を編むワークショップ。夏会期に向け、志度・津田エリアと引田エリアにて、地元漁師や地域の方々、瀬戸内国際芸術祭のボランティアサポーター・スタッフ「こえび隊」が編んだ網（そらあみ）を受け継ぎ、東京・丸の内 で作品を完成させます。

○**トークセッション** | 7/19(土)13:00-14:00 「瀬戸内・瀬戸芸の魅力」 瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター：北川フラム氏

7/20(日)13:00-14:00 「豊島・島キッチン」 三菱地所ホテルズ&リゾーツ：山口仁八郎氏

7/21(祝)13:00-14:00 「さぬき市・東かがわ市の魅力」 各市担当者

7/20(日)・7/21(祝) 五十嵐靖晃氏とのトークセッションを開催予定

○アーティスト | 五十嵐 靖晃（いがらし やすあき）



Photo Manami Takahashi

1978 年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了。

人々との協働を通じて、その土地の暮らしと自然とを美しく接続させ、景色をつくり変えるような表現活動を各地で展開。アートとは「自然と人間の関わり」の術であると考えている。2005 年にヨットで日本からミクロネシアまで 約 4000km を航海した経験から“海からの視座”を活動の根底とする。

代表的なプロジェクトは、《くすかき》（太宰府天満宮/2010～）、《そらあみ》（瀬戸内国際芸術祭 2013・2016・2019）、《時を束ねる》（南極ビエンナーレ 2017）、《海渡り》（つなぎ美術館/2021～）など。2024 年、千葉県立美術館開館 50 周年記念特別展「五十嵐靖晃 海風」を開催した。

○同時開催 | ①瀬戸内国際芸術祭公式グッズ、物産展を開催

出店：（一社）さぬき市観光協会、東かがわ市、ベネッセハウス
アナザージャパン

②ハースト婦人画報社／瀬戸内の魅力を発信する特別編集タブロイド配布（先着 100 名様）
ELLE JAPON/ ELLE DECOR/ ELLE gourmet/ Harper's BAZAAR art/ 婦人画報/ 25ans が協働

○主催 | 三菱地所株式会社、瀬戸内国際芸術祭実行委員会

○協力 | 五十嵐靖晃、株式会社アートフロントギャラリー、
瀬戸内国際芸術祭サポーターこえび隊、株式会社ベネッセコーポレーション
株式会社ハースト婦人画報社、
藤原デザイン室

《高松港プロジェクトについて》

2010 年に瀬戸内国際芸術祭が開催されて以降、国内外からの来訪者は増加傾向にあります。高松港や JR 高松駅、バスターミナルなどが集まる「サンポート高松」周辺では、新たな商業施設や県立アリーナ「あなぶきアリーナ香川」が新設されるなど、香川県は一層のにぎわい創出に取り組んでいます。本プロジェクトでは、高松港が、瀬戸内の食や産品、技術などの発信の場となり、芸術祭、さらに四国を代表する国内外からの表玄関として、人々が交流する歓待の港となることを目指します。

《これまでのワークショップについて》

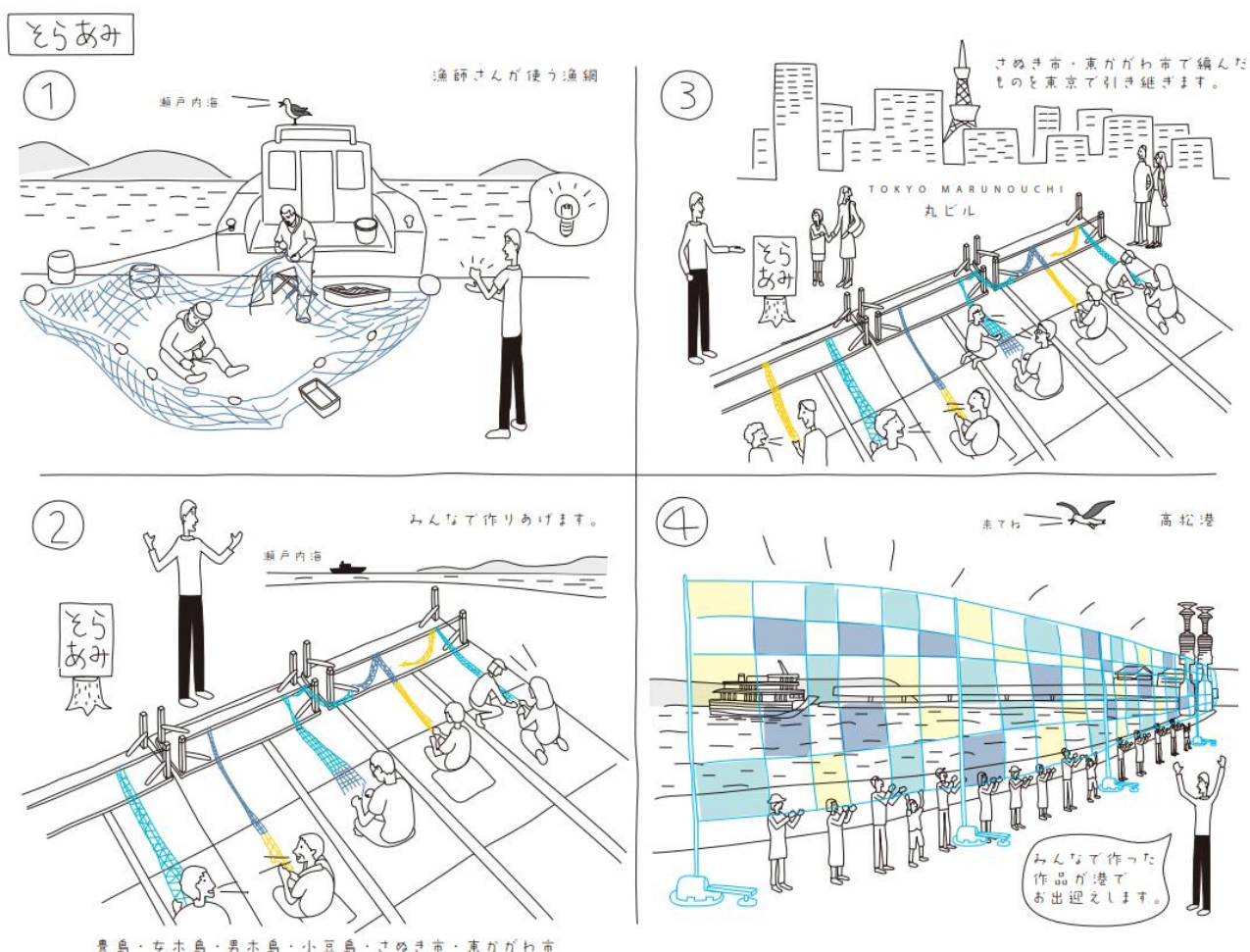
高松港プロジェクトでは、漁網で高松港を彩ることで、島に向かう人々を送り出し、帰り道の目印として、人と人、海と島の記憶をつなぎます。

2013 年・2016 年・2019 年に沙弥島を始めとする与島 5 島や香川県西部の島々で、網を編みあげる大規模な作品制作を行ってきたアーティストの五十嵐靖晃氏。芸術祭春会期に向け東部の島々（豊島・女木島・男木島・小豆島）において、また、夏会期に向けて新会場の引田エリア、志度・



制作風景 Photo Shintaro Miyawaki

津田エリアで、地元漁師や地域の方々、こえび隊と一緒に 6 つの網を作り上げました。これらと丸ビルで編んだものが繋がり、高松港に掲げられます。



《瀬戸内国際芸術祭への協賛について》

三菱地所グループでは、高松空港株式会社が 2019 年から、三菱地所株式会社が 2022 年から瀬戸内国際芸術祭に協賛し、応援しています。

今回は、瀬戸内国際芸術祭 2025 の魅力や同芸術祭が目指すこと、そして各地域の取組や魅力を首都圏にて伝えることを目的に、瀬戸内国際芸術祭実行委員会や協力企業と協働し、作家の五十嵐靖晃氏と東京・丸の内にて作品を制作するワークショップを企画しました。

本取組みにより、瀬戸内の魅力あるまちづくりに貢献して参ります。

以 上

〈一般の方・その他お問い合わせ先〉

三菱地所 空港事業部 03-3287-5085 担当：岡崎 新太郎

〈報道関係者お問い合わせ先〉

三菱地所 広報部 03-3287-5200